

平成 29 年 8 月 29 日

株式会社クリーン工房

回 答

1. 施設は参加型か、あるいは展示型のいずれでご検討しているのでしょうか？

混合型で検討を進めています。

例えば、修理・再生品の展示コーナーなどは展示型となりますし、実習室や調理室は参加型のインフラとなります。また、エントランスや多目的室では、企画の展示や映画の上映を行うだけでなく、催事イベントの際のスペースとして活用できるように考えています。

2. 設計図面の閲覧は可能でしょうか？

可能です。(代表企業及び市の承認後となります)

3. ごみの会に求める確認事項のリスト

事前に送付させていただいた見積りに関する確認事項に関しては、弊社が、設計施工事業者(川重・石井・井出特定共同企業体)の協力企業の立場として、設計に関する検討を行うにあたり、確認をお願いしたい事項となります。(主に今年度を実施する内容です)

ごみの会さんには、これまでの活動実績だけでなく、この施設のプログラムの内容に関して協力をしていただいた経緯があると伺っておりますので、そのような視点から、確認していただきたいと考えています。

例) コンセントの数、消費電力確認(100V・200V)、シンクの数 等

(3Rとの関係について)

質問事項への回答につきましては以上となりますが、3Rとの関係が不明確というご指摘をいただきましたので、弊社の考えについて補足の説明をさせていただきます。

なお、以下の内容については、富士市の承諾を得たものではなく、今後、富士市に提案を予定している内容となります。

① 3 Rに関する今後の進め方について

3 Rに関する今後の進め方ですが、上記のハード面に関する確認事項について、ごみの会さんに確認していただいたものをもって、3 Rに説明していく流れで考えております

3 Rについては、行政的な考えで、公平・平等性といったところに重点を置いて、昨年度メンバー募集を行ったということですので、3 Rの意見を聞く機会を設け、設計やプログラムへ反映できる部分は反映していきたいと考えています。

② 将来的な運営体制について

弊社は、指定管理者の優先交渉権者となっており、将来的には弊社と市内NPOとのJVによる運営体制を作りたいと考えています。(現時点では、弊社と、「ごみの会」さん、「東海道・吉原宿」さんの、3者によるJVを想定しています)

ごみの会さんの方で、JVへの参加についてご協力いただける場合には、提示した見積りには含まれない部分として、指定管理者として運営を行うにあたり確認をお願いしたい事項(プログラムの内容、頻度、対象人数等、運営の仕組み、運営経費 等)についても、今後、協議をお願いしたいと考えています。

3 Rについては、これから「運営の担い手となる市民活動団体の体制づくり」を行っていくという方向性が出ているところですが、参加動機も様々な3 R参加者のスキルやネットワークを活かすためには、3 Rの「体制づくり」にとらわれず、参加者が自らの意向や得意分野に沿った活動に専念できる体制とすることがより重要であると考えています。そのため、弊社としては、3 Rを組織化・法人化するのではなく、各プログラムにおいて随時活動していただく、個人や団体の登録者制度として制度化することで、施設を活用するエンドユーザーととらえることが適当だと考えています。

ただし、現在の参加者については、エンドユーザーの立場として関わりたいという意向を持っている方だけとは限らず、運営スタッフ志望の方や、意見を言いたいだけの方などもあるかもしれないため、3 Rの枠にとらわれずに、参加者の方々をどのような形の担い手としていくことが望ましいのか、今後、弊社のパートナーとして、JVへの参加にご協力をいただけるようでしたら、ごみの会さんからもアイデアをいただきながら、検討を進めていきたいと思っております。